

やけど（熱傷）の知識とその予防



やけどとは？

一般的に、やけどと言われるものは医学的に「**熱傷(ねっしょう)**」と言います。その定義は、熱湯や油などの熱により生じる皮膚や身体の損傷のことを熱傷といい、化学薬品や電気などが原因で生じるものも含まれます。

やけどの分類

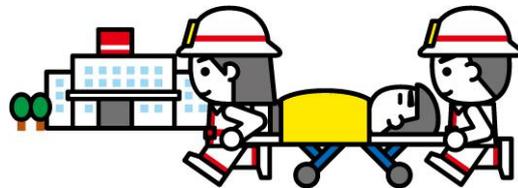
高熱による熱傷(一般的なやけど)

やけどの原因で最も多く、通常65℃以上の熱が生体に接触すると、身体のだんぱく質は熱凝固を起こしやけどとなります。火炎や、沸騰したお湯(100℃)であれば、1秒の接触でもやけどとなります。



化学熱傷

強い酸性やアルカリ性など、刺激性の高い化学物質が皮膚に触れることで障害が起きます。家庭でも良く使われる排水パイプ用洗剤や漂白剤など、身近なものが原因となります。



低温熱傷

比較的低温度の湯たんぽやカイロ、電気カーペットなどに長時間接触し生じる障害をいいます。45℃以上、60℃以下の熱源による損傷は低温熱傷を疑います



やけどの程度

やけどの程度は、Ⅰ度からⅢ度で分類されます。



Ⅰ度のやけど

皮膚が赤くなり、ヒリヒリと痛む程度で一番浅いやけどです。俗にいう「日焼け」はⅠ度のやけどです。経過は数日で自然に治ります。



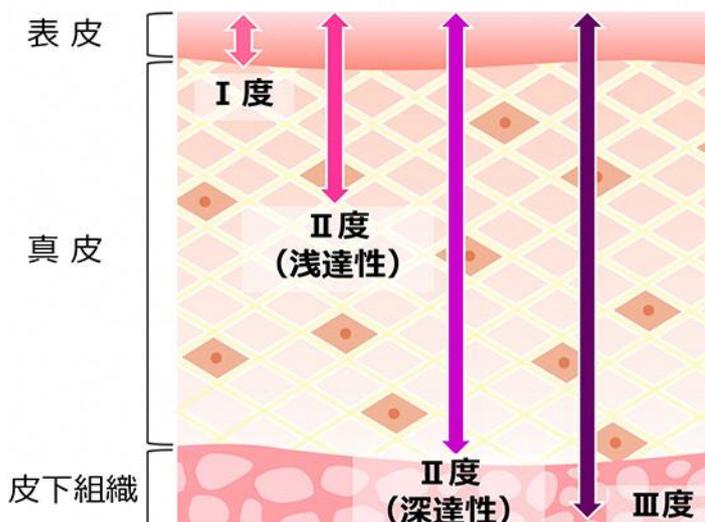
Ⅱ度のやけど

皮膚に水ぶくれができ、激しい痛みを伴う、中間の深さのやけどです。腫れや痛みが強い場合は医療機関を受診しましょう。



Ⅲ度のやけど

最も深いやけどで、水ぶくれにならずに皮膚が真っ白になったり、黒く焦げたりしてしまいます。ここまでのやけどだと、痛みをあまり感じなくなります。自然に治るのは困難なため、必ず医療機関を受診してください。





やけどの原因は？

1位

食べ物、飲み物（熱湯）

2位

火災に伴うもの

3位

調理器具、暖房器具



※長野市消防局管内

やけどの事例紹介

- ★1歳女児 薪ストーブを両手でさわった。
- ★2歳女児 鍋に入った「おたま」を引っ張り、味噌汁がかかった。
- ★2歳男児 熱してあったフライパンにさわった。
- ★53歳男性 たき火が風にあおられ衣服に着火した。
- ★80歳男性 ポットにつまずき、ポットが倒れ熱湯がかかった。
- ★90歳女性 カップラーメンを運んでいて転倒、スープがかかった。



やけどの防止アドバイス



◎食べ物・飲み物など

- ・熱いものを運んでいる際に転倒しないように足元をきれいにする。
- ・子どもにお手伝いさせるときは熱すぎるものを運ばせない。



◎調理器具など

- ・ポットなどは子どもの手の届かない場所に置く、また万が一転倒させてもこぼれないような物を使用する。高温蒸気にも注意する。
- ・鍋やフライパンなどの取手が子どもに触られないようにする。

◎暖房器具など

- ・湯たんぽなど、厚手のタオルや専用カバーなどで包んでいても低温やけどはおきるので、寝る前には布団から出す。
- ・ガスコンロの火や仏壇のローソクの火が衣類に着火してやけどをすることがあります。生地の手袖や裾が広がった服は火が着いても気づきにくいので注意する。

やけどをしてしまったら...

◎やけどをしてしまったら、できるだけ早く水道水などで冷やします。

(目安は10分以上、痛みが和らぐまで。冷やしすぎると低体温症をまねきます)

◎衣類は無理に脱がさず、衣類の上から水をかけて冷やします。

◎水ぶくれはなるべくつぶさないようにしましょう。

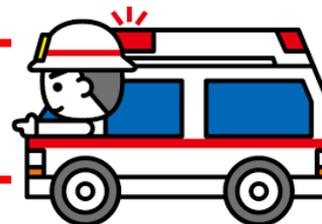
(水ぶくれは、やけどの傷口を保護する役割があります)

◎化学熱傷の場合、化学薬品の付いた衣類は早く取り除き、体についた薬品などは水道水などで洗い流します。

◎広範囲のやけどは、清潔なタオルなどでおおって水をかける、または水に浸した清潔なタオルなどで冷やします。

◎薬品などは塗ってはいけません。他に、民間療法で昔から言われている「味噌やアロエなどを塗ると治る」などの方法ですが、感染症を引きおこしたり医療機関での治療の妨げになったりしますので絶対に行わないでください。

こんな時はただちに119番通報しましょう！



◎ガーゼなどで覆いきれない大きな水ぶくれがあるⅡ度のやけど

◎皮膚が焦げていたり、白くなっていたりして痛みを感じないようなⅢ度のやけど

◎火災などで、鼻毛が焦げている場合や喉の違和感がある場合
(高温の煙を吸ったときは気道のやけどや肺の損傷の可能性があります)

◎I度からⅢ度のやけどが混在し、広い範囲にわたっている場合

鳥居川消防署 信濃町分署